

守谷市議会出前懇談会開催結果報告書

令和2年10月21日

守谷市議会議長 様

出席議員代表 長谷川 信市

報告者 高梨 恭子

守谷市出前懇談会を下記のとおり開催しましたので報告します。

開催日時	令和2年10月21日（水） 午前10時00分～12時00分		
開催場所	北守谷公民館 会議室1		
議題	学校生活での常時マスク着用の改善について		
参加団体名	MaMa Talk	参加市民の 人数	5名
出席議員	高梨隆 長谷川信市 渡辺秀一 高梨恭子 高橋典久		
懇談内容	<p>学校生活での常時マスク着用について議員の皆さまはどう思われているのか。常時マスク着用の害もあると考えるが。という始まりでした。議長から「一般的にこの時期マスクは必要（飛沫を飛ばさないためにも）と考えている。」と代表して回答。</p> <p>そのうえで、この団体のこれまでの活動の説明がありました。8月6日の文科省の指針の中で過度な消毒や過度のマスク着用については規制が緩められたように感じている。それを受けてこの団体は教育長に8月19日に要望書を提出。それを受けて教育部次長と指導室長と9月8日に面談ができたが、基本は室内ではマスク着用とするとのことでした。</p>		

1. マスクをしたくない・させたくない（子・親）について、学校での強制をやめていただきたい。
2. 市内小中学校の指導を統一してほしい。同調の圧力をやめてほしい。
3. マスクにコロナ感染の予防効果はないことや、マスクをすること及び過度のアルコール消毒液を使用することによる健康被害についても周知していただきたい。

議長が、学校という教育現場ではコロナ感染を発生させたくないため文科省からの指針に従うしかないと思うが、多様性、宗教をはじめとする考え方、少数意見として、その環境づくりについては、我々議会として提言をしていきます。とまとめました。